

紹介

◎新刊

経営管理支援マニュアル

近年、農業・畜産分野において地域の担い手育成の手法として、また経営体質強化の手法として法人化が急速に進められる中で、畜産経営の経営管理能力を向上させるのに必要な会計・財務管理、資金の調達、法務、法人化などの事項について、最近の畜産情勢にみる課題と新しい制度・状況などを踏まえて検討し、取りまとめられた、法人化を考える畜産経営者、さらには経営指導者必携の書。

判型：A5判・372頁
定価：2,500円（税込み）

問合せ先：中央畜産会事業第一統括部情報業務担当
☎03-6206-0846
FAX 03-5289-0890
E-mail : book@jlia.jp

行事案内

第4回日本家畜臨床感染症研究会総会・学術集会 (日本獣医師会生涯研修認定プログラム)

日時：2009年12月11日(金) 9:30～17:00

場所：酪農学園大学学生ホール（中央館1F）

北海道江別市文京台緑町582番地

テーマ：「ザ・粘膜免疫！」

内容：

①教育講演

「免疫学の新世界：粘膜での防御と共生」

清野 宏（東京大学医科学研究所）

②日本家畜臨床感染症研究会総会

③ランチョンセミナー

「プロバイオティクス、プレバイオティクス及びシンバイオティクス」

高橋志達（ミヤリサン製薬株）

④一般口演（10題程度）

⑤推奨研究

・「子牛の腸管付属リンパ組織の形態と機能」

保田昌宏（宮崎大学）

・「子牛の消化管の細菌叢と成長」

小池 聡（北海道大学）

・「哺乳育成期の子牛の消化と成長」

後藤篤志（NOSAI都城）

⑥総合討論

⑦意見交換会

演題募集：発表者は、社会人（農学、畜産学、獣医学系大学等の卒業者（大学院生、研修医可）を対象とし、HPより受付（発表演題の中から協賛企業賞、大会長特別賞の授与有）。10月26日締切。

その他：事前登録はHPより受付（11月24日締切）

問合せ先：

〒034-8628 青森県十和田市東23番町35-1

☎0176-24-9454（内線439）

<http://www.rinkanken.org/>（研究会HPから問合せ、入会可能）

北里大学獣医学部獣医学科大動物内科学研究室内
日本家畜臨床感染症研究会事務局

代表 大塚浩通

募 集

獣 医 師 募 集

大 川 動 物 病 院

職 種 小動物臨床獣医師 若干名（臨床経験のない方も歓迎致します）

場 所 福岡県大川市

スタッフ 現在，獣医師1名及び動物看護師4名

連絡先 〒831-0016 大川市大字酒見336-7

大川動物病院 担当：岡田

TEL 0944-87-6709 FAX 0944-87-6747

行 事 案 内

平成21年度日本家畜臨床学会総会・第40回学術集会

日 時：平成21年11月14日(土)～15日(日)

場 所：秋田温泉 さとみ

〒010-0822 秋田市添川字境内川原142-1

☎018-833-7171

内 容：①総会，②特別講演：高橋正弘（NOSAI岩手北部），③シンポジウムⅠ「家畜の生産と動物福祉」佐藤衆介（東北大学），④シンポジウムⅡ「牛ルーメンの微生物研究の最前線と性状評価へのアプローチ」三森真琴（畜産草地研究所），佐藤 繁（岩手大学），

⑤一般講演22題（症例報告，研究報告）

参加費：会員 17,500円，学生会員 14,000円

（宿泊，懇親会費込）

問合せ先：〒034-8628 十和田市東23番町35-1

北里大学獣医学部 大動物外科学研究室

☎0176-24-9360（渡辺大作）

E-mail：dwatanab@vmas.kitasato-u.ac.jp

学会ホームページ：

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsvc/>

行事案内

第 22 回 日本ウマ科学会学術集会

日 時：2009年11月30日(月)・12月1日(火)
場 所：東京大学農学部 弥生講堂 (一条ホール・
アネックス), 3号館教授会室
(〒113-8657 文京区弥生1-1-1)

内 容：

①11月30日(月)

JRA 調査研究発表会

・特別講演 (総研50周年記念講演)

「アメリカにおける獣医学教育の現状」

Dennis E Brooks DVM PhD Dip ACVO

(Professor of Ophthalmology,
University of Florida)

・一般口演, 企業展示, JRA との合同懇親会

②12月1日(火)

・臨床獣医師ワーキンググループ招待講演

「馬臨床獣医師のための眼科手技」

Dr. Brooks

・馬臨床獣医師ワーキンググループ症例検討会
運動器(蹄), 感染症, 消化器をテーマに各
分野3名による, アナライザーシステム採用
のパネル・ディスカッション形式
一般口演, 総会, 企業展示

参加費：会員 3,000円, 非会員 5,000円

学生 1,000円(会員・非会員を問わず)

その他：詳しくは日本ウマ科学会ホームページ

(<http://www.equinst.go.jp/JSES/index.html>) を参照

問合せ先：日本ウマ科学会事務局

〒320-0856 栃木県宇都宮市砥上町321-4

JRA 競走馬総合研究所内

☎028-648-5099 FAX 028-647-0686

E-mail : e-office@center.equinst.go.jp

紹介

◎新刊

史上最大の伝染病「牛疫」

根絶までの4000年

億単位の家畜を死亡させ、その猛威が世界史も変えたという牛疫を、天然痘に次ぐ感染症の2例目の快挙として根絶するまでの道のりを紹介した、新型インフルエンザ対策の教訓ともなる、最先端で研究にあたった第一人者が語る貴重な記録。

著 者：山内一也

版 型：四六判 上製 カバー 200頁

定 価：2,940円(税込)

発売日：2009年8月27日

ISBN978-4-00-005465-2 C0047

紹介

◎新製品

エプリネックス® トピカル

内部および外部寄生虫，双方に有効なアベルメクチン系のエプリノメクチンを主成分として含有する，ネマトジルスに対しても有効な牛用の駆虫外用剤。

発売日：2009年10月初旬

販売元：日本全薬工業(株)

製造販売業者：メリアル・ジャパン(株)

大動物部門マーケティング部（担当者：徳山）

☎03-5251-8166 FAX 03-5251-8194

E-mail : keiri.tokuyama@merial.com

訃報

◎構成獣医師

矢倉健一氏（茨城県かすみがうら市稲吉5-19-20）平成21年5月8日病気のため逝去，享年77歳。

興相護人氏（開業 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井1178-1）平成21年5月4日呼吸不全のため逝去，享年88歳。

小口洋右氏（岩手県盛岡市中の橋通2-7-38）平成21年4月27日病気のため逝去，享年76歳。

仲庭茂樹氏（大阪府藤井寺市道明寺1-3-1）平成21年4月9日逝去，享年54歳。

清水喜明氏（地方公務員 宮崎県宮崎市花山手西2-26-1）平成21年5月15日急性骨髄性白血病のため逝去，享年41歳。

諸澤角介氏（茨城県常陸大宮市野口443-4）平成21年5月16日病気のため逝去，享年90歳。

三輪 篤氏（岐阜県美濃加茂市山之上町2013）平成21年5月23日心不全のため逝去，享年79歳。

本瀬光雄氏（自営業 富山県黒部市三日市1072）平成21年5月25日病気のため逝去，享年80歳。

佐原孝馬氏（茨城県つくば市北条222）平成21年5月27日病気のため逝去，享年83歳。

高橋兵二氏（奈良県葛城市薑83）平成21年5月14日脳梗塞のため逝去。

望月恒太郎氏（開業 福島県須賀川市塚田23-1）平成21年4月16日脳梗塞のため逝去，享年41歳。

太田三男氏（開業 福島県郡山市清水台1-1-8）平成

21年5月14日心不全のため逝去，享年85歳。

（平成21年5月11日から平成21年6月3日の間に所属地方獣医師会から報告のあった訃報を掲載しました。ご冥福をお祈り申し上げます。）

事務局日誌

- 9月1日：獣医師賠償責任保険中央審議会
：越智勇一記念学術振興基金運営委員会
- 9月3日：北海道獣医師大会に山根会長，中川副会長出席
- 9月4日：全国公衆衛生獣医師協議会研修及び調査研究発表会に北村顧問出席
- 9月5日：四国地区獣医師大会に山根会長，大森専務理事出席
- 9月6日：中部獣医師会連合会大会に山根会長，藏内副会長出席
：第11回全国学校飼育動物研究大会に中川副会長出席
- 9月7日：第3回理事会
- 9月13日：関東・東京地区獣医師大会に山根会長，藏内副会長，中川副会長，大森専務理事，北村顧問出席
- 9月16日：獣医学教育改善に関する関係者打合せ会議に山根会長，大森専務理事出席
- 9月17日：東北地区獣医師大会に山根会長，中川副会長出席
- 9月24日：第91回全国大学獣医学関係代表者協議会に山根会長出席
- 9月25日：第148回日本獣医学会学術集会「評議員会」に山根会長出席
- 9月27日：近畿地区連合獣医師大会に山根会長，藏内副会長出席
- 9月28日：第9回産業動物・家畜共済委員会
- 9月30日：第15回動物感謝デー企画検討委員会

【お詫びと訂正】

第62巻第9号（21年9月号）訃報／構成獣医師 P.695 右段上から一人目「栗原羊一氏（福井県直方市…）」を「栗原羊一氏（福岡県直方市…）」に訂正してお詫び申し上げます。

行事案内

農研機構国際シンポジウム

「動物用バイオ医薬の将来展望とその課題」

日時：11月16日(月) 10:00～17:30

場所：秋葉原コンベンションホール(東京都台東区)

主催：動物衛生研究所

内容：

1 第1部

①「新しいタンパク治療薬，経口インターフェロン
(ビムロン)の展望」

堀越信夫 (Harvard Medical School)

②「ウシ乳房炎治療におけるサイトカインの応用」

林 智人 (動物衛生研究所)

③「ウシインターフェロンの抗ウイルス活性
と経口投与による影響」

村上賢二 (動物衛生研究所)

④「小動物のための養子免疫療法」

山口智宏 (㈱ケーナインラボ)

⑤「サイトカインを用いた医薬品開発の課題」

田村 豊 (酪農学園大学)

⑥招待講演

「The use of advanced enabling technologies
to develop therapeutic and preventative vac-
cines for the animal health market」

Dr. Robert Nordgren
(Head, Biologics R&D, Merial Ltd.)

2 第2部

①「豚丹毒菌をプラットフォームとした経口投与
型ベクターワクチンの開発」

下地善弘 (動物衛生研究所)

②「経口ワクチン米の開発」

高岩文雄 (農業生物資源研究所)

③「組換えワクチンの欧米での状況」

種子野 章 (㈱インターベット)

④「カルタヘナ議定書ならびに国内法の概略」

諏訪部和幸 (農林水産省農産安全管理課)

⑤「組換えワクチンに関する Codex 及び OIE での
議論」

吉倉 廣 (厚生労働省食品安全部参与)

3 第3部 総合討論

問合せ先：動物衛生研究所企画管理部企画チーム

☎029-838-7895 FAX 029-838-7907